

# 新たな時代へ繋ぐ「小さくても持続可能なまち」

七ヶ宿町長 小 関 幸 一

あけましておめでとうございます。  
町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いでの輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

近年における本町の人口減少は緩やかに、高齢化率も44%台を維持しています。これまで取り組んできた移住定住対策や生活環境整備、各種支援事業等の成果が表れてきたものと感じています。人口減少を止めることは決して容易ではありません。今までに創ってきた事業にしっかりとした支援を継続し、成長事業に育てることを持続可能な町としての良い循環ができてくるものと考えております。

「町民が安心して暮らせるまちづくり」を基本として、「小さくても持続可能なまち」の実現を目指し、第1次産業の活性化、町民の暮らしを守る安全安心対策、教育の充実、若者定住と雇用の拡大、都市との交流などの関連事業に引き続き積極的に取り組んで参ります。

皆様の生活に関連しましては、介護や在宅支援等の各種福祉事業、健診、ドック等の独自健診を含む各種健康推進事業、18歳までの医療費、学校給食費、保育料の無料化のほか、結婚・子育て支援、次世代リーダー育成のための助成など、全世代にわたる生活支援の充実も図っております。また、新型コロナウイルスからの経済回復と円安、口

シアによるウクライナ侵攻、パレスチナ紛争等の影響により、生活に直結する物価高騰等の危機に対しては、住民生活の安心と事業者生産意欲の維持の観点から、商品券や支援金事業を行い、迅速な対応を図って参りました。

子育て環境の充実を図るため建築中の関保育所は、本年3月に完成し、4月からは新しい施設の利用が可能となります。子供たちが、木造のぬくもりを感じ、新鮮な空間でのびのびと活動してほしいと願っています。また、大規模化、局地化する災害への備えとして整備している防災備蓄倉庫も本年3月に完成し、災害時の物資、食料等を保管するほか、災害対策本部の代替機能を有した施設となります。

昨今の世界情勢、国内情勢の変化に、先行き不透明なところもありますが、このような時代だからこそ「小さくても持続可能なまち」の実現のため、全力を傾注して参りますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

## 「住民主権」に沿った議会機能の向上を目指して

七ヶ宿町議会議長 管 原 研 治

町民のみなさんには明るく穏やかな新年を迎えられたことと、心よりお喜びを申し上げます。

世界中に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症もワクチン接種や5類扱いに移行されたことから、全国的に人や物の流れが徐々に回復の兆しに向かい、国内の経済も明るさが戻りつつありますが、未だロシアのウクライナ侵攻は物価の高騰など多方面に影響を及ぼし、イスラム組織ハマスとイスラエルとの紛争は国際的な人道問題ともなっています。

そうした国際情勢ではありますが、七ヶ宿町においても高齢者や障害者への支援、子育て環境や医療体制の充実など、中でも公立刈田総合病院が白石市の指定管理施設となったことで、今年は近隣の総合病院への移動手段など、住民福祉の向上に一層の配慮が必要な年でもあります。

更には町の基幹産業でもある農林業や酪農畜産業、商工業や観光産業などへの支援体制の拡充はもとより、子供たちを育む教育環境の充実や地域に残る文化遺産の継承など、主権者である住民を代表する議会として、住民が暮らしやすい環境づくりにしっかりと取り組まなければならぬ年でもあります。

かつて12名で構成されていた町議会も議会改革という風潮の中で、令和元年9月の改選から定数8名の県内で最も少ない議会となりましたが、常任委員会や特別委員会、実行委員会など8委員会の運営に各議員が複数兼務しながら取り組んでおり、現在、役場庁舎内で無線通信サービスは利用できませんが、国が積極的に進めるデジタル化構想や情報化社会のスピードに対応するため、何よりも住民への情報発信能力を高めるため、定例会を含む様々な会議にノート型パソコンやタブレット端末の利用を可能とするなど、本質的な機能向上を目指し積極的に取り組んでいるところでもあります。

今年「通年議会制」の導入や委員会運営の検証など、開かれた議会推進のため一層の意識改革と機能向上に取り組む必要があると認識しておりますので、町民のみなさんには本年も町議会に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。心よりお願いを申し上げます。すと共に、みなさんのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。議会を代表し年頭のごあいさつと致します。

令和6年  
新年のご挨拶を申し上げます